



発行／明湖会 第57号 2024年2月15日 (題字 故山本祐一初代会長)



河美明湖会
盛り上がった
新納涼祭盆おどり大会
広報委員 伊奈 達矢

去る八月五日、河原公民館前広場で納涼おどり大会が行われました。今年も四年ぶりに焼き鳥や焼きそば、お団子などの露店が復活し、本来の形に戻った開催となりました。

櫓を囲んだ盆踊りでは、小さな子から年配の方まで一緒になって楽しみ、音楽につられてだんだんと人が増えていき、陽が落ちて提灯に明かりが灯る頃にはとても大きな一つの輪になりました。世代を越えて一緒に楽しめるとても素敵なイベントだと改めて感じました。

子ども会からの出し物のヨーヨーつり、スーパーストリングでは、途中でこよりが切れてしまって悪戦苦闘している子や、たくさん釣れて喜んでる子、子ども達の様々な良い表情を見る事ができました。途中花火大会が行われ、ドラゴンや手持ち花火を保護者の方に協力してもらいながら楽しみました。色とりどりの花火で会場が華やかになりました。

盆踊り終盤、六年生が交代で音楽に合わせて太鼓をたたき、大盛り上がりで幕を閉じました。

露店での食事を楽しみながら家族や友達と会話をしたり、地域の方と交流できる時間が戻ってきてとても、嬉しく思います。

企画、準備等に携わってくれた方々に感謝します。来年の盆おどり大会も楽しみにしています。

「始動」

明湖会長 高村 一幸



本年四月までコロナによりさまざまな制限が余儀なくされてきました。しかし、五月からは、制限が緩和され社会全体が従来の状態に戻ろうとしています。

湖西市の明湖会においても各地区ともに活動できるようになってきたことと思います。ちなみに、私自身もある地区の自治会の役員を務めています。明湖会の活動の一つとして夏の納涼祭を運営しました。

地域の壮年会・子ども会・敬老会の協力を得て老若男女が互いに交流を深めることができ、それぞれ

れの立場で運営に携わっていただいた方々に感謝しております。今まで普通にできていたことがとても新鮮に感じられたのは私だけではないと思います。

スポーツや文化の活動においても、コロナ禍の明けた本年は昨年以上の結果を収めることができました。青少年健全育成大会での優秀作品をはじめ、標語や詩や絵画の作品も大変すばらしかったと思います。

当たり前のことが普通にできる状態、すなわち「平常」の意義をあらためて感じた一年であったと思います。

今後明湖会の役員はもとより市民の皆さん方には、様々な活動を通じて地域の絆や個人の力量を高め、明るい湖西の一翼を担っていただけるよう期待しています。

明湖会 地域の活動・話題

新所明湖会
新所の名所巡り
「ふれあいウォーク」

広報委員 西川 努

コロナも制限が緩和され、新所明湖会も各行事が行われるようになり、大変うれしく思います。中でも「第十九回ふれあいウォーク」は天候にも恵まれ、夏日にも近いぐらゐの気温の中、十一月五日開催されました。区民百十人が参加されました。

三河弁のラジオ体操で体をほくして出発。一般参加者は六キロメートル弱のコース、新所クラブは三キロ程のコースを楽しみました。コースは区民広場をスタートし、弁天様↓お社宮司(しゃぐうじ)↓八幡宮↓天神様↓松尾神社↓神明宮・天王様↓日の岡子ども広場↓日の岡四つ角↓区民広場でゴールです。みんなで歩いて健康増進を図り、交流を深めるとともに地元の名所の再発見ができるなど内容の深い行事になっています。開催にあたっては自治会、明湖会の役員を始め、婦人会、新所クラブ、少年野球等多くの皆さんの協

力をいただきました。お疲れ様でした。



鷺津明湖会
夏祭りの
子ども相撲大会

広報委員 宮野 隆雄

横須賀神社で四年ぶりとなる夏祭りを二〇二三年七月十五日(土)にて開催されました。例年は二日間にかけて行われていましたが、今年は土曜日だけの開催となりました。

鷺津明湖会としては、主要イベントとして子ども相撲大会を行い、夏祭りを一層盛り上げ、対象は年少から小学六年生までで、熱戦が繰り広げられました。優勝、準優勝、第三位、敢闘賞の四つの賞が授与され、どの世代も白熱した試

合を繰り広げました。

参加者は約百二十名に上り、大人たちは自分の子どもだけでなく、他の子どもたちも応援し、楽しいひと時を過ごし、参加賞としてはお菓子の詰め合わせが贈呈され、子どもたちは喜びに包まれました。鷺津明湖会は、子どもたちが楽しく相撲が取れるように土俵の管理や仕組みを考え、丹精込めて準備を進めました。来年度も開催予定なので、ご来場をお待ちしております。



坊瀬明湖会
恒例の
「坊瀬地区クリーン作戦」

広報委員 小池 裕之

例年は六月の第一日曜日に実施していましたが、今年は雨天のため十一月五日に「坊瀬地区クリーン作戦」が行われました。

当日は地区の男女二十五人が参加して、普段は見過ごし易い歩道を中心に、空き缶、ペットボトル、マスクなどを収集しました。

可燃物、不燃物の袋を手に、四年ぶりに開催された「秋祭り」など地区の話題を談笑しながら収集を行いました。車からの投げ捨てに疑問を抱きながら、歩道を中心として収集しました。

これは車からのポイ捨てが多いと思われるが、捨てる立場からしますと、絶対に「ポイ捨て」はダメだと思います。きれいな街にしたいと誰もが思っておりませんが、お互いに気をつけなければならぬいと痛感しました。

今回のクリーン作戦では、可燃物十五袋、不燃物十袋を回収しました。

特に、大人は子どもの手本となる行動が必要です。ポイ捨ては絶対にダメ、美しい街づくりに努力しましょう。



入出明湖会
約二百人が参加し、
ウォーキング大会

広報委員 山本 誠

このほど新春恒例の「健康わくわくウォーキング大会」が、入出集落センターを発着点に三年ぶりに開かれました。

子どもからお年寄りまで、地域住民約二百人が参加して、一周二・五キロのコースを、友だちと楽しみながら歩いていました。

今回で三十七回目となる大会は、従来はジョギング部門も開催されていましたが、コースの安全確保が難しいというところで、今回はウォーキング部門のみとなりました。ちなみに三十八回目となる大会は、一月にウォーキング部門と、内浦内を周回するコースで、ジョギング部門も復活する予定です。



古見明湖会
皆で盛り上がり
古見区民納涼祭

広報委員 鈴木 幹雄

去る八月五日、古見児童遊園において古見地区納涼祭が四年ぶりに開催され、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の皆さんが参加してくれました。

例年通り早朝から櫓の組み立て、バザー会場の設営などの準備を始めました。

納涼祭のスタートは子供のアトラクション、一番人気は秋祭りでも定番の射的で、ほかに輪投げ、一円玉落としなどのゲームで賑わいました。夕方のバザーが始まる頃にはさらに多くの人が集まってきました。

メインイベントは「手踊り」です。提灯が点灯され会場が灯りに映える頃には、櫓上に設置された納涼太鼓の音頭に合わせて老若男女の踊りの輪が大きく広がり、会場は熱気に包まれました。また、踊りの合間に秋祭りの太鼓が披露され、祭りを大いに盛り上げました。

猛暑の中の会場設営は大変でしたが、笑顔いっぱい楽しい納涼祭がいつまでも続くことを願ってやみません。
ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。



川尻明湖会

大福餅作れたよ!!
楽しく「餅つき大会」

広報委員 森 勉

十一月五日(日)、川尻公会堂の集会室には大きな押し餅板が二箇所用意され、子どもたちのお餅作り体験をメインにした「餅つき大会」が開かれました。

写真は「毎年、暮れには子や孫が集まって餅つきだよ」とおっしゃるKさんのご指導のもと、大福餅作りの一コマです。写真の右隅では餡こ玉に手が届かなかったか、きなこ餅が完成したようです。子どもたちのお勝手姿から日頃のお手伝いぶりが目に浮かびます。お餅作り体験は室内だけではありません。

公会堂前の広場にはお湯で温められた石臼が待っていて、蒸し上がったもち米が裏庭から到着すると大人の餅つきが始まります。そして、仕上げは子どもたちです。

手返しを伴う本式の餅つきを子ども用の杵で体験する子、月の兎さん方式を棒状の杵で体験する子、どちらも杵を通したお餅の感触だけは分かってくれたことでしょうか。お父さんに手返しをしてもらって体験した子、また杵が重かったかな。杵は来年も待っているからね。さて、作り上げた大福餅やきなこ餅はそのままお持ち帰り？ 実はこの写真の手前側には立食用テーブルが二十脚近く並べられているのです。「自分が食べるお餅は自分で作ろう」と参加した子ども

もたちですから抜かりはありません。そのテーブル上面は名前入りの紙コップで分割されており、自分のエリアに自分のお餅を待機させてあるのです。

裏庭のかまどで用意された豚汁がお餅作りの終了に合わせて配られ、少し早目のお昼の「いただきますまゝす」となった次第です。

幼児からお年寄りまで百五十人余りを楽しませてくれた「お餅作りの引力」に改めて感じ入りました。裏方さんを始め、会を盛り上げて下さった全ての方々にお礼を申し上げます。



市場明湖会
にぎやかな
バーベキューと納涼祭

広報委員 松野 喜一

市場地域振興協議会と子ども会によるバーベキューと納涼祭が八月五日に市場公会堂で三年ぶりに開催され、市場明湖会もこれに協賛しました。

計画時点では感染症対策には十分に注意して開催すると決めて動いていきました。

当日の夕方より役員の方々が手分けをして買い出しや会場の設営を行いました。氷を大きなクーラーボックスに入れ飲み物を冷やし、重たい鉄板を洗い、焼き台に炭火を入れ、机や椅子を出し、準備が行われました。

開始時間になると多くの地域住民が集まり楽しいひと時を過ごしました。肉・野菜・焼きそば・おにぎり等定番の物ばかりでしたが、屋外にて大人数で食べるとまた違ったおいしさを感じる事が出来ました。

日が暮れて暗くなると子ども会が花火大会を行いました。手持ち



山口明湖会
久しぶりに
開催できた納涼祭

広報委員 野口 嘉彦

去る八月十六日、山口地区公会堂にて恒例の納涼祭が行われました。

コロナだけでなく台風七号の接近などもあり、当日まで開催が危ぶまれる中、少し雨に降られましたが、皆さんの協力を得てギリギリでしたが開催出来ました。

当日は役員を中心に地区の人に協力頂きテント張り・コンロの設置から始まり、準備、料理、片付けに大忙し。

子どもたちの五平餅作り挑戦から始まり、作り方は婦人部の方に教えていただきながら、各自自分で作った五平餅を美味しくいただきました。また、水風船ゲームには悪戦苦闘していました。

夕方から、帰省した家族たちも含め百人を超える人たちが集まり、わいわい、ガヤガヤ賑やかに近況報告などの話で盛り上がっていました。

焼きそば・五平餅を始め、焼き

鳥・たこ焼などが出て、お腹を満たしながら各種飲み物もあり盛況でした。

最後は夏らしく、子どもたちの花火を締めとして納涼祭を無事終えることが出来ました。

山口地区では子どもからお年寄りまで地域の人たちが一堂に集まり、親睦を深められる催しが納涼祭ですので、これからも引き続き開催できるよう協力してゆきたいと思えます。



岡崎地区明湖会
スポーツを通して
地域の和を広げよう

広報委員 鈴木 伸治

岡崎地区明湖会では、各自治会の協力を得ながら、本年度は四年ぶりに三つのスポーツイベントを実施しました。青少年の健全育成と健康で明るい地域づくりを目指して活動をしています。

三つのスポーツイベントの中でも最も大きな行事が「明湖会フェスタ」です。地区の小学生を中心に応援を含めて、三百人近い人達が一堂に会し、いろいろな競技を行いました。ドッジボールでは低学年と高学年に分かれ、それぞれ熱気あふれる真剣勝負を繰り広げました。そのほかに「ストラックアウト」、「ポッチャ」、「輪投げ」を行い、幅広い年齢層の子ども達がいろいろな球技を楽しみました。コロナ禍以降、地域の絆や交流が希薄になっていると言われていますが、岡崎地区明湖会は、幅広い世代が参加できるスポーツイベント（明湖会フェスタの他にはデカスポテニスやソフトバレー、ソ



フトボール大会を実施した。)を企画し、多くの参加者を募り、体育委員が中心となって積極的に活動を推進していきます。

新居中部地区明湖会
中学生が「ふれ合い縁日」
で祭りの運営を体験

広報委員 山本 政廣

令和五年七月二十八日開催のふれ合い縁日は、上田町と中田町が共同で開催しました。二十八日午後五時半から上田町



公民館の駐車場で、地域の祭典との関わりが少なくなりがちな中学生が祭りの運営を体験する機会として、地元のふれ合い縁日に店を出し、三年生が中心になり、綿菓子とかき氷の作り方や接客を練習し成果を出しました。住民にとって中学生は貴重な戦力で祭りの後継者であります。

また、祭りに欠かせない横笛と太鼓は先輩が手ほどきし、手筒花火や伝統芸能などを教わり、楽しく過ごしました。

表鷺津明湖会

第三回

ふれあいフェスタ開催

広報委員 飯田 文雄

去る九月十日、表鷺津防災センター及び表鷺津湖岸一号公園を会場に、表記ふれあいフェスタが開催されました。

当日は天気にも恵まれ、屋外での各種ゲーム（新たに小学四年生以下を対象にビンゴゲームを取り入れ五種目）に加え、綿菓子作り、ペットボトルロケットの発射体験や表鷺津長寿会グラウンドゴ



ルフ大会の観戦等々が行われ、参加された方々に共通の話題作りの場面を提供することができました。これを契機に家族・区民のふれあいが深くなり、地域の活性化に繋がることを祈念し、十一時には散会しました。

浜名地区明湖会

初めてのみんな一緒に納涼祭

広報委員 横山 照夫

各地で猛威を振るっていたコロナも次第に落ち着いて来た八月六日、四年ぶりに浜名地区納涼祭が開催されました。当日は雨が降ったり止んだりの生憎の天気の中、小さなお子さんからお年寄りまで多くの方々が集い楽しい一時を送ることができました。

前回までは日ヶ崎地区のみで行われていた納涼祭でしたが他の橋本地区では少子化の影響で、お祭り行事が出来ない事もあって是非一緒にという思いから、今回の開催となりました。

屋外では綿菓子・ポップコーン・フランクフルト・かき氷等々雨の



合同を縫って各町の皆さんの協力で屋台を、また公民館の中では輪投げやゲームの準備が着々と進められました。

いよいよ開催の時間となりました。相変わらずの天気で、果たして何人の人が来てくれるのかと心配していましたが、時間と共に大勢の人達が誘い合って足を運んでくれて夜店では売り切れ続出で嬉しい悲鳴。室内のゲームコーナーでは順番待ちの長蛇の列。

公民館前の広場では音楽に合わせヨチヨチ歩きの子どもさんから年配のおいしいちゃん・おばあ

ちゃんもみんな輪になって楽しく踊ったり。

初めての手持花火を手にしておっかなびっくりの女の子やスイカ割りに挑戦してあらぬ方向に行ってしまうって周りから大爆笑されたりと笑いの絶えない楽しい納涼祭となりました。

少しづつ以前の生活に戻りつつある今日ですが、地域の輪の大切さをつくづく感じた一日となりました。

自須賀明湖会

サマーフェスタ 2023 in 白須賀

広報委員 内山 勝男

長く続いた「コロナ禍」も終焉を迎え、四年ぶりの開催となりました。やっとかめの大きな行事ということで、資料をかき集め役員全員右往左往しながら準備を進めました。

事前に盆踊りの練習会を三回行いましたが、講師の先生方も振り付けを思い出しながら・・・なんて場面もありました。

当日は綿菓子、ポップコーン、(7)

ヨーヨー釣りなどの楽しい夜店も用意しました。子ども達に無料で開放し、大盛況でした。太鼓櫓を中心に盆踊り、餅投げ、抽選会など皆で楽しみました。

また、白須賀商工会の方々には、例年の「みたらし団子」のみならず、抽選会の豪華景品まで提供して頂くなど大変お世話になりました。「オール白須賀」という形になり、心強く感じます。

開催のチラシを各町内に回覧するだけでなく、小学校・幼稚園でも配付する等して、お子さんを中心とした家族連れの方達が多数参加してくれました。

地域全体での行事が難しくなっ



た昨今ですが、子ども達の楽しい夏の思い出が出来たかな・・・と思います。

大きなトラブルもなく無事に片

付けを終えた頃、大雨が降り出しました。日頃の行いが良かったんでしょうね。(笑)

地域の子どもは地域で育てる ～湖西市青少年健全育成大会～



去る十一月四日に、第三十回湖西市青少年健全育成大会が、西部地域センターで開催されました。

大会宣言後、青少年健全育成表彰が行われ、文化・スポーツの分野で素晴らしい活躍をされた個人・団体の方が受賞されました。

家庭の日表彰では、小学校低学年対象の「絵画」、小学生高学年対象の「標語」、中学生対象の「家族の詩」の表彰が行われました。「家族の詩」の受賞者による発表や、小・中・高校生による「少年の主張」も行われました。

本年度も、参加者が「あいさつ・声掛け運動」を推進し、積極的に子どもたちにかかわっていくことを誓い合った大会でした。

第30回 湖西市青少年健全育成大会

